細地区などである。

議案第47号 初雁公園基本計画審議会条例

【公明党】【日本共産党】

問 基本計画策定に向けて、現在の進捗状況は。

答 庁内で大規模公園等整備検討委員会を設置し、市制施行100周年に向けて確実に事業進捗が図れるよう、区域の見直しも含めた構想の見直しを行うことで庁内の合意形成を図ってきた。

問 市民の公募の委員は、どのように選考するのか。

答 委員の公募は、広報やホームページ等で募集した上で、選考会議において小論文等を審査し、選考する。

問 公園の規模をどのように考えているのか。

答 構想では13・5haと壮大な計画であったが、事業が約30年間、ほとんど進まなかった事実を踏まえ、現在の初雁公園を中心とする、より実現性のある区域に見直すことを考えている。

……

問 構想の13・5haを前提に審議するのか?

答 平成元年策定の構想を前提に、事業進捗が困難である状況を踏まえ、実現性のある区域に設定し直すことも審議してもらう予定である。

問 課題整理されているか。

答 野球場やプールに関することや県指定史跡区域内であること、県立川越高校があることなど、改めて課題を抽出し、一つ一つ検討していく必要がある。

問 審議会設置に当たり、どのような公園にしたいのか、市長の考えを伺う。

答 初雁公園は、市民の活動拠点となるとともに、新たな賑わいを創出することが可能な公園である。構想の方向性を継承しつつ、規模、整備内容の両面から、市民のニーズに沿った現実的なものに見直す必要があると考える。

議案第48号 霞ケ関駅自由通路条例の一部改正

【民進党】

問 霞ケ関駅自由通路が供用から約10年経過したが、これまでの問題点を伺う。

答 いたずら等による自由通路の壁面等、構造物の破損事例の発生が課題となっている。これについては、警察に被害届を提出する等の対応を行っているが、引き続き、管理体制の強化を図りたいと考えている。

問 霞ケ関駅自由通路の管理業者は随意契約での委託だが、新河岸駅自由通路の管理業者の選定方法に関する市の見解は。

答 新河岸駅の自由通路と駅舎等との建築物の位置関係や管理体制の効率的なあり方を検討し、一般競争入札等を含め、総合的に判断したいと考えている。

議案第49号 道路附属物自動車駐車場条例の一部改正

【公明党】【民進党】【日本共産党】

問 新河岸駅に設置する駐車場の内容を伺う。

答 この駐車場は、円滑な道路の交通の確保のため道路管理者が設ける施設である。収容台数は、東口が9台、西口が11台、うち車いす使用者用駐車施設が各1台であり、機械精算方式のフラップ式タイプを整備する予定である。

問 駅利用者以外の目的外使用に対し利用制限は。

答 利用制限等を設ける予定はないが、看板等で利用者へ注意喚起を行っていきたいと考えている。

問 利用料金は民間業者を圧迫する設定ではないか。

答 民間駐車場の状況を考慮した利用料金として、利用開始から30分を無料、それ以降は30分までごとに200円と設定しているため、民間業者への圧迫にはつながらないと考えている。

……

問 霞ケ関駅北口駐車場について周辺の時間貸し駐車場と比較し、24時間駐車した時の料金の差はどれくらいになるか。

答 24時間駐車した場合の料金を比較すると、差はおよそ19倍である。

問 霞ケ関駅北口駐車場および新河岸駅東西口駐車場の駐車料金に上限設定を検討していく考えはあるか。

答 現段階では、短時間の利用はしやすく、長時間の利用は抑制することで、交通結節点としての機能を果たすという目的に沿った運用を行いたいと考えている。上限設定に伴い長時間の利用者が増えると想定されるため、駐車場の実態と沿線他市の状況を踏まえた上で、調査・研究を行っていく。

……

問 新河岸駅西口および東口駐車場の施行日が異なる理由について伺う。

答 自由通路および橋上駅舎の完成記念式典を平成29年12月2日に予定し、その後に西口駅前広場の供用開始を予定している。新駅舎は、12月3日の始発列車から供用となり、西口駐車場も同日からの施行日となる。一方、東口駅前広場は、自由通路整備工事等のため駅の供用開始時は暫定的なものとなり、広場全体の供用開始は、平成30年4月1日予定のため、異なる施行日を設定している。

問 駐車場の利用制限について伺う。

答 保守、管理上の要因で利用を制限する場合を除き、24時間の利用が可能である。また、駐車場の継続駐車の上限は、利用開始日を含めて3日間以内としている。